



株主通信

Vol.2

2007年4月1日～2007年9月30日

証券コード 4208



宇部興産株式会社

Wings of technology
and spirit of innovation.

That's our DNA driving our global success.

株主の皆様へ

“株主通信”をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当中間期の経済情勢は、原油や石炭などの原燃料価格の高止まりが続き、米国経済の減速懸念はあったものの、アジアを中心として世界経済は引き続き拡大基調で堅調に推移し、国内経済においても景気回復が着実に進んでまいりました。

このような状況の下、当社グループは中期経営計画「ステージアップ 2009」の基本方針に基づき、持続的成長が可能な収益基盤確立に鋭意取り組む一方で、成長戦略事業への集中投資により収益増大を図りつつ財務構造改革をより一層押し進め、さらなる業績の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当中間期における連結業績は売上、営業・経常利益で過去最高を更新し、財務体質の改善が着実に進みました。

今後の経済情勢につきましては、サブプライムローン問題が

世界経済に与える影響や原燃料価格、為替、金利上昇等の先行き不透明な要因もあり、事業環境は予断を許さない状況が続くものと予想されます。

こうした情勢を踏まえ、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、中間配当を見送らせていただきたく、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

なお、期末配当につきましては1株につき1円増配し5円とさせていただきます。

当社グループでは、「スピードと信認」をキーワードとして掲げ、中期経営計画「ステージアップ 2009」の実現に向けグループの総力をあげて取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **田村 浩章**



CONTENTS

株主の皆様へ	1
中間連結業績ハイライト	2
部門別概況(連結)	3
トピック ニュース	4
トピックス	5
財務諸表(連結)	7
財務諸表(単独)	9
会社情報	9
株式情報	10

マネジメント・チーム (2007年9月30日現在)



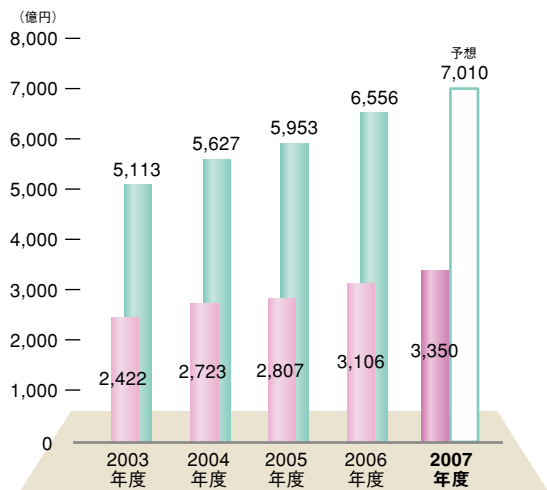
左から：松本 善臣*取締役、関谷 一真専務執行役員、元田 充隆*取締役、高橋 信行専務執行役員、田村 浩章代表取締役社長、紀平 浩二専務執行役員、千葉 泰久代表取締役、古川 陽道取締役、岡田 和彦代表取締役、宇野 雅夫取締役、松本 卓取締役

*社外取締役

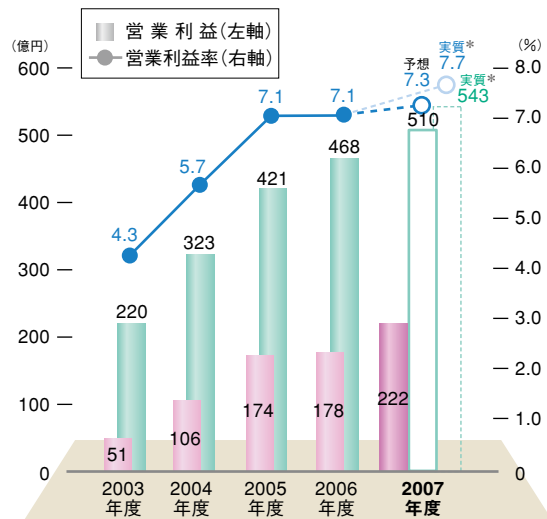
中間連結業績ハイライト

■ 通期 ■ 中間期 ● 通期 ● 中間期

売上高

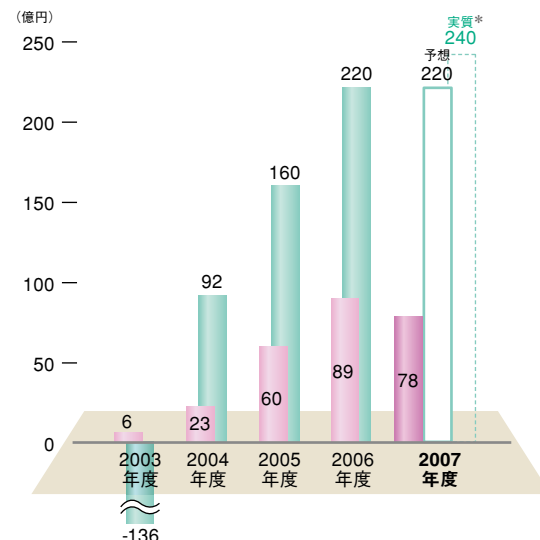


営業利益と売上高営業利益率



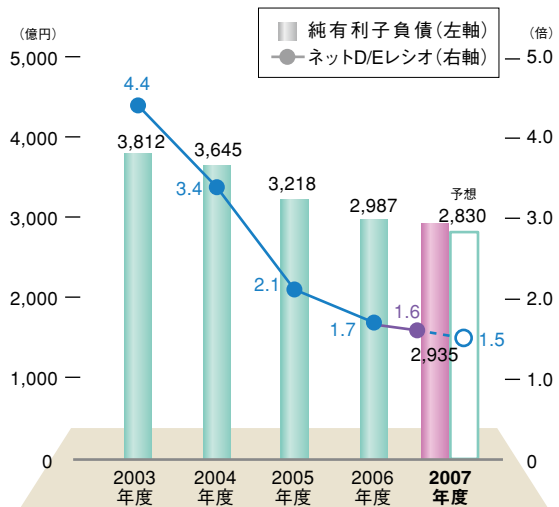
*2007年度税制改正に伴う減価償却制度見直し前の計算方法による

中間(当期)純利益(損失)



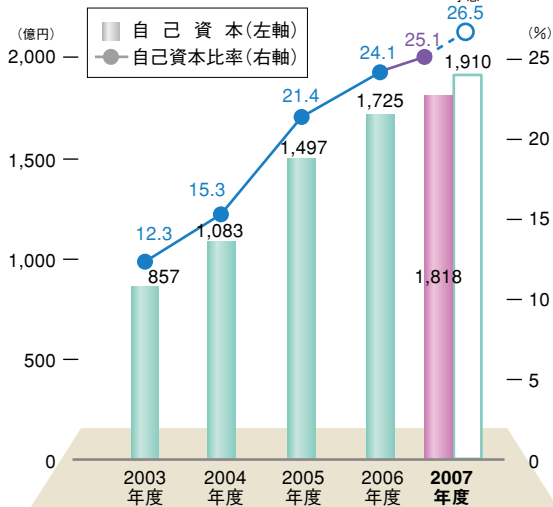
*2007年度税制改正に伴う減価償却制度見直し前の計算方法による

純有利子負債とネットD/Eレシオ*



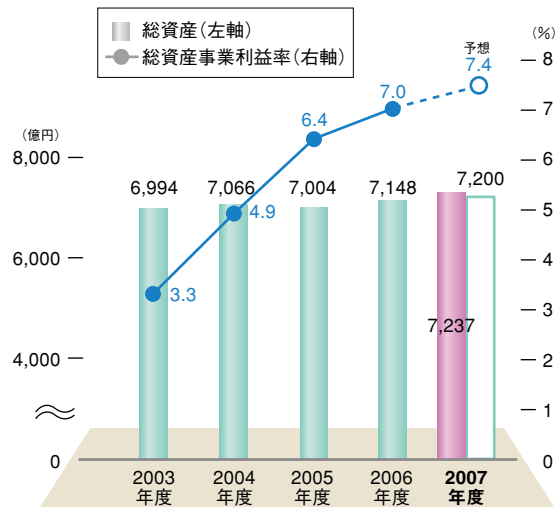
*ネットD/Eレシオ = 純有利子負債 (= 有利子負債 - 現金・現金同等物) / 自己資本

自己資本と自己資本比率*













*自己資本比率 = 自己資本 (= 純資産 - 新株予約権 - 少数株主持分) / 総資産

総資産と総資産事業利益率(ROA)*



*総資産事業利益率(ROA) = 事業利益 (= 営業利益 + 受取利息・受取配当金 + 持分法投資損益) / 総資産

部門別概況（連結）

部門	主要商品	売上高比率	部門別概況
化成品・樹脂 売上高 1,127 億円 (前中間期比14.6%増) 営業利益 69 億円 (前中間期比45.6%増)	 <ul style="list-style-type: none"> ● 合成ゴム ● カプロラクタムチェーン <ul style="list-style-type: none"> ・ カプロラクタム ・ ナイロン樹脂 ・ 工業薬品 	 34%	<p>カプロラクタム、ナイロン樹脂、ポリブタジエン（合成ゴム）の出荷は引き続き好調に推移しました。カプロラクタムは原料価格が高騰しましたが、製品価格への転嫁が進んだためスプレッド（製品価格と原料価格の値差）が拡大し、加えて副生硫安の価格も上昇しました。また、工業薬品の出荷は概ね堅調でした。</p>
機能品・ファイン 売上高 456 億円 (前中間期比6.5%増) 営業利益 62 億円 (前中間期比23.8%増)	 <ul style="list-style-type: none"> ● 機能性材料 <ul style="list-style-type: none"> ・ ポリイミド ・ 電池材料（電解液、セパレーター） ・ 半導体関連・電子材料（高純度化学薬品、光通信関連） ・ ガス分離膜 ・ セラミックス ・ 通信部品 ● ファインケミカル ● 医薬品（原体、中間体） 	 14%	<p>昨年秋口からはじまった薄型テレビのパネルなどの在庫調整による影響を受け、ポリイミド製品の出荷が低調でしたが、IT・デジタル市場の需要拡大基調は継続しており、リチウムイオン電池用電解液・セパレーターの出荷は好調でした。ガス分離膜はバイオエタノール精製用アルコール脱水膜、防爆用窒素分離膜ともに需要が急拡大しており、出荷は好調でした。医薬品原体・中間体の出荷は堅調で、ファインケミカル製品の出荷は総じて好調でした。</p>
建設資材 売上高 997 億円 (前中間期比0.1%増) 営業利益 42 億円 (前中間期比10.0%増)	 <ul style="list-style-type: none"> ● セメント・生コン ● 資源リサイクル ● 石灰石 ● 建材関連製品（セルフベリング材、左官材、防水材） ● カルシア・マグネシア ● 機能性無機材料 	 30%	<p>セメント・生コンは8月以降、改正建築基準法による影響を受けましたが、出荷は概ね前中間期並みとなりました。また、石炭等燃料コスト上昇の影響を受けましたが、各種廃棄物の原燃料へのリサイクル利用は順調に拡大しました。建材製品は床工用セルフベリング材などの出荷が堅調でした。また、カルシア・マグネシアの出荷も鉄鋼向けを中心に好調で、機能性無機材料の出荷もプラズマディスプレイ向けを中心に増加しました。</p>
機械・金属成形 売上高 542 億円 (前中間期比0.8%増) 営業利益 27 億円 (前中間期比2.9%増)	 <ul style="list-style-type: none"> ● 機械 <ul style="list-style-type: none"> ・ 成形機（ダイカストマシン、射出成形機） ・ 産機（運搬機、ミル、破砕機） ・ 橋梁・鉄構 ・ 製鋼品 ● アルミホイール 	 16%	<p>機械事業は、国内外の製鉄産業向けや海外のセメント産業向けを中心に各種産業機械の出荷が伸長しました。ダイカストマシンや射出成形機などの成形機の出荷は堅調でした。また、受注は自動車関連産業の設備需要に鈍化がみられるものの、高水準を維持しております。製鋼品等の出荷は引き続き好調でした。</p> <p>アルミホイール事業は、国内の出荷は好調であったものの、北米についてはビッグ3向け出荷が減少し、日系ユーザーへのシフトが本格化するまで、低水準での稼働を余儀なくされており、徹底したコスト削減を推し進めております。</p>
エネルギー・環境 売上高 207 億円 (前中間期比47.9%増) 営業利益 18 億円 (前中間期比54.5%増)	 <ul style="list-style-type: none"> ● 石炭 ● 電力 	 6%	<p>石炭価格高騰と需給が逼迫する中、需要家において前倒し調達動きが見られ、販売炭数量と預り炭数量がともに増加しました。</p>

宇部にUBEグループ総合案内施設UBE Plazaがオープン

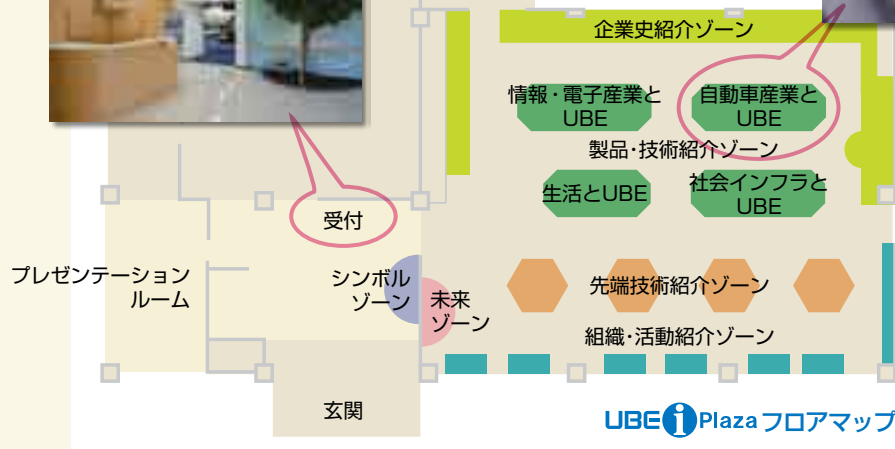
創業110周年を記念して今年11月27日、当社の発祥の地であり、現在も最大の事業拠点を構える山口県宇部市にUBEグループ総合案内施設UBE Plazaがオープンしました。UBEグループの歴史と、現在の事業・製品・技術、そして将来に向けたさまざまな活動を、わかりやすくご紹介しています。

企業史紹介ゾーン

創業者 渡邊祐策翁の「共存同栄」「有限の石炭から無限の工業へ」という経営理念のもと、地元宇部市とともに発展してきたUBEグループの歴史をご紹介します。

製品・技術紹介ゾーン

UBEグループの製品・技術と社会との関わりを、情報・電子産業、自動車産業、生活、社会インフラの4つのテーマで、ビジュアルにご紹介します。

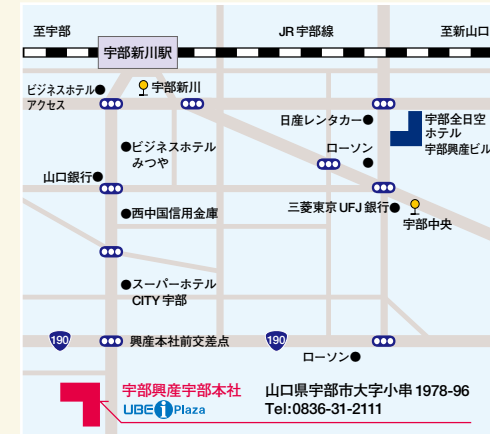


先端技術紹介ゾーン

環境にやさしい化学、電子と光の技術、極限に挑む技術、生活の質の向上に貢献する技術など、UBEグループの研究開発の一端をご紹介します。

組織・活動紹介ゾーン

UBEグループ150余社のご紹介とともに、グローバル展開、UBEグループの環境保全への取り組み、CSR活動などをご紹介します。



UBE Plazaへのアクセス

- 飛行機で
山口宇部空港より宇部本社まで、車で約15分
- 鉄道で
JR宇部線 宇部新川駅より徒歩5分
山陽新幹線 新山口駅より宇部新川駅までは、特急バスで約40分、またはJR宇部線で約50分
- お車で
(関西方面から)中国自動車道 新山口ICから山口宇部有料道路経由で約40分
(九州方面から)山陽自動車道 宇部ICから約20分

開館時間：平日9:00～17:00

但し、当社休業日(年末年始、夏期休暇、創立記念日(3月10日))を除く

見学は無料(事前予約要)です。

見学ご希望の方は下記にお申込みください。

<お申込み・お問合せ>

宇部興産(株) 宇部渉外部 (Tel:0836-31-2111)

トピックス

2007年度中間期トピックス一覧

2007年 4月 新中期経営計画「ステージアップ 2009」を発表

4月 タイ国でナイロン6樹脂増産を決定 **Topics 1**

5月 宇部マテリアルズ(株)が東北地方の石灰製造会社を買収 **Topics 2**

5月 宇部興産(上海)有限公司が北京事務所を開設 **Topics 3**

5月 「加圧二段ガス化システム(通称:EUP)による廃プラスチックのケミカルリサイクル技術」が日化協技術賞を受賞

5月 ナイロン多孔質球状微粒子など3製品で化粧品原料を事業化*1

6月 6月1日、創業110周年

8月 タイ国で特殊ゴムVCR*2製造設備が完成

8月 英国・ICL社とPUD*3に関する技術ライセンス契約を締結し、環境コーティング材料分野に参入

8月 アルミホイールの大口径化第一期工事完工

8月 廃プラスチックのリサイクルコンパウンド技術を大手家電メーカーが採用

9月 ポリイミド*4フィルム「ユーピレックス®」の第9期製造設備完工 **Topics 4**

9月 「UBEグループ CSR報告書2007」を発行 **Topics 5**

用語解説

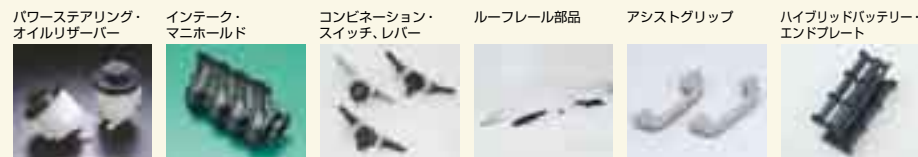
*1 化粧品原料を事業化 光拡散性能に優れファンデーションに配合して自然な色を演出できる「ナイロン多孔質球状微粒子」、モズク由来で高い保湿力を発揮する「ウベフコイダン®」、保湿成分「天然型合成セラミドII」の3製品で、化粧品原料事業に参入します。

Topics 1

化成品・樹脂

タイ国でナイロン6樹脂増産を決定

ナイロン6使用例:自動車部品



フードバルジ



フューエルサブタンク



シリンダーヘッドカバー



クリップ、ファスナー



エンジンカバー



パーパーキャニスター



EPSギア



セレクトレバーベース



シートベルトバックル



ナイロン6使用例:食品包装用フィルム

タイ国のUNT(ウベ・ナイロン・タイランド)社で、2009年10月から5万トン/年の増産を決定しました。ナイロン6樹脂は、射出分野では自動車部品などに、また押出分野では食品包装用フィルム、釣糸・漁網用などに使用されるエンジニアリング・プラスチックです。UBEグループは、宇部・タイ・スペインの三極で現在、計10万5千トン/年を生産し、高い品質で評価を得ています。

*2 VCR(ビニル・シス・ラバー) VCRはブタジエン・ゴムの中に樹脂を分散させた当社独自の複合ゴムで、加工性や硬度・弾性に優れているため、車の低燃費、軽量化に貢献できるゴムとして、タイヤのサイドウォールに広く使われています。

Topics 2

建設資材

宇部マテリアルズ(株)が東北地方の石灰製造会社を買収



東北鉄興社 石灰石鉱山



宇部マテリアルズ(株)は、カルシア事業の全国ネットワーク化の一環として今年5月1日、東ソーグループの石灰製造会社である東北鉄興社(岩手県一関市)を買収いたしました。これにより、東北地区における石灰製品の生産拠点を確保し、東北縦貫高速道路や製紙向け石灰需要に対応してまいります。

宇部マテリアルズ(株)

- 事業所・営業所
- 工場
- 業務提携先

東北鉄興社

Topics 3

エネルギー・環境

宇部興産(上海)有限公司が北京事務所を開設



世界の石炭需給が逼迫している中で良質な石炭を安定調達すべく、今年5月に中国・北京市に事務所を開設しました。豪州炭、インドネシア炭の調達拠点となるウベ・シンガポール社とともに、安価で良質な石炭を調達・供給してまいります。

宇部興産(上海)有限公司 北京事務所の開設式典

*3 PUD(水系ポリウレタン・ディスパージョン) PUDは数十～数百nmレベルの微粒子が水中に分散した樹脂製品です。VOC(揮発性有機化合物)の削減が可能のため、環境に配慮した塗料材料として自動車内外装の塗装を中心に需要が伸びています。

Topics 4

機能品・ファイン

ポリイミドフィルム「ユーピレックス®」の第9期製造設備完工



「ユーピレックス®」使用例:
液晶駆動IC基板(COF)



第9期ポリイミドフィルム
製造設備

薄型テレビの駆動IC基板フィルム材料として評価が高いポリイミドフィルム「ユーピレックス®」は、昨年8月に完成した第8期設備に続いて今年9月、第9期設備が宇部ケミカル工場で完成しました。今後の薄型テレビ生産台数増に伴う需要拡大に対応するとともに、高精細化・薄膜化が進むFPC(フレキシブル配線板)用途にも積極展開してまいります。

Topics 5

全社

「UBEグループ CSR報告書2007」を発行



「CSR報告書2007」では、「地域との対話」、「人と環境にやさしい製品・技術」の2テーマについての特集とともに、経済・環境・社会の3つの側面からUBEグループのCSR(企業の社会的責任)活動をご紹介します。

「CSR報告書2007」は当社ホームページからも送付請求、またはダウンロードいただけます。

<http://www.ube-ind.co.jp/japanese/ir/shiryou.htm>

(お問合せ:CSR推進事務局)

Tel:03-5419-6112 Fax:03-5419-6237)

*4 ポリイミド ポリイミドは、1960年代初めに航空・宇宙向けに開発された耐熱性高分子材料です。当社が1983年、独自技術による工業化に成功したポリイミドフィルム「ユーピレックス®」は、優れた機械物性、寸法安定性などの特徴を活かして、薄型テレビ、携帯電話などの電子機器向け回路基板として広く利用されています。

財務諸表(連結)

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

主な科目	前期 (2007年3月31日現在)	当中間期 (2007年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	286,991	292,574
現金及び預金	21,694	27,215
受取手形及び売掛金	161,581	151,668
たな卸資産	79,185	90,789
その他	24,531	22,902
固定資産	427,876	431,064
有形固定資産	359,886	364,824
無形固定資産	4,050	4,175
投資その他の資産	63,940	62,065
繰延資産	4	80
資産合計	714,871	723,718

主な科目	前期 (2007年3月31日現在)	当中間期 (2007年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	314,833	323,204
支払手形及び買掛金	104,351	103,794
短期借入金	144,658	135,448
一年以内償還社債・転換社債	1,750	20,498
その他	64,074	63,464
固定負債	204,842	195,258
社債・転換社債	20,868	16,220
長期借入金	152,740	148,286
退職給付引当金	7,486	7,281
その他	23,748	23,471
負債合計	519,675	518,462
純資産の部		
株主資本	158,062	161,230
資本金	58,399	58,399
資本剰余金	28,362	28,375
利益剰余金	71,676	74,881
自己株式	△375	△425
評価・換算差額等	14,531	20,652
新株予約権	78	132
少数株主持分	22,525	23,242
純資産合計	195,196	205,256
負債・純資産合計	714,871	723,718

POINT 1 流動資産

受取手形及び売掛金が減少する一方、たな卸資産や現金及び預金等が増加したことなどにより前期比55億円(1.9%)増加しました。

POINT 2 固定資産

有価証券の時価評価額の減少などにより投資有価証券が35億円減少しましたが、海外子会社の有形固定資産が円安のため円換算により増加したことなどにより前期比31億円(0.7%)増加しました。

POINT 3 純資産

その他有価証券評価差額金が16億円減少しましたが、為替換算調整勘定が77億円、利益剰余金が32億円それぞれ増加したことなどにより、純資産は100億円(5.2%)増加しました。

POINT 4 特別損失

建材製品の製造販売子会社及び生コン子会社において固定資産の減損損失30億円を計上しました。

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

主な科目	前中間期	当中間期
	(自 2006年4月1日 至 2006年9月30日)	(自 2007年4月1日 至 2007年9月30日)
売上高	310,690	335,051
売上原価	253,570	271,970
売上総利益	57,120	63,081
販売費及び一般管理費	39,278	40,838
営業利益	17,842	22,243
営業外収益	6,754	4,715
営業外費用	7,791	8,304
経常利益	16,805	18,654
特別利益	510	704
特別損失	6,044	4,390
税金等調整前中間純利益	11,271	14,968
法人税等	1,958	6,693
少数株主利益	397	473
中間純利益	8,916	7,802

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

主な科目	前中間期	当中間期
	(自 2006年4月1日 至 2006年9月30日)	(自 2007年4月1日 至 2007年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,026	27,756
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,213	△14,213
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,112	△10,276
現金及び現金同等物に係る換算差額	150	2,015
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△149	5,282
現金及び現金同等物の期首残高	20,077	21,278
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	26	—
連結範囲変更に伴う調整	824	295
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,778	26,855

中間連結株主資本等変動計算書 (自 2007年4月1日 至 2007年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
前期末残高	58,399	28,362	71,676	△375	158,062	14,531	78	22,525	195,196
中間期中の変動額									
剰余金の配当			△4,034		△4,034				△4,034
中間純利益			7,802		7,802				7,802
自己株式の取得				△64	△64				△64
自己株式の処分		13		14	27				27
持分法適用会社の除外に伴う利益剰余金減少高			△585		△585				△585
再評価積立金取崩に伴う利益剰余金増加高			22		22				22
株主資本以外の項目の中間期中の変動額(純額)						6,121	54	717	6,892
中間期中の変動額合計	—	13	3,205	△50	3,168	6,121	54	717	10,060
中間期末残高	58,399	28,375	74,881	△425	161,230	20,652	132	23,242	205,256

中間貸借対照表

(単位：百万円)

主な科目	前期 (2007年3月31日現在)	当中間期 (2007年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	134,252	132,469
現金及び預金	5,190	6,912
受取手形及び売掛金	74,749	71,568
たな卸資産	31,473	34,281
その他	22,839	19,707
固定資産	330,000	337,100
有形固定資産	201,777	200,920
無形固定資産	2,761	2,883
投資その他の資産	125,462	133,296
資産合計	464,253	469,644
負債の部		
流動負債	177,131	198,037
支払手形及び買掛金	48,946	46,938
短期借入金	85,456	88,314
一年以内償還転換社債	-	19,908
その他	42,728	42,877
固定負債	159,799	144,947
社債・転換社債	19,908	15,000
長期借入金	123,942	119,244
その他	15,949	10,702
負債合計	336,930	342,985
純資産の部		
株主資本	120,336	121,054
資本金	58,399	58,399
資本剰余金	29,196	29,197
利益剰余金	32,900	33,676
自己株式	△159	△218
評価・換算差額等	6,908	5,471
新株予約権	78	132
純資産合計	127,323	126,658
負債・純資産合計	464,253	469,644

中間損益計算書

(単位：百万円)

主な科目	前中間期 (自2006年4月1日 至2006年9月30日)	当中間期 (自2007年4月1日 至2007年9月30日)
売上高	138,468	158,557
売上原価	112,603	128,699
売上総利益	25,865	29,858
販売費及び一般管理費	18,469	19,081
営業利益	7,396	10,777
営業外収益	5,476	5,306
営業外費用	5,355	5,398
経常利益	7,516	10,685
特別利益	759	6,100
特別損失	8,091	8,786
税引前中間純利益	184	7,999
法人税等	△1,126	3,190
中間純利益	1,310	4,809

会社概要

設立 1942(昭和17)年3月
 資本金 58,399百万円
 従業員数 3,540人(連結 11,280人)
 連結対象会社 102社
 (連結子会社 73社、持分法適用会社 29社)
 ホームページアドレス <http://www.ube.co.jp>

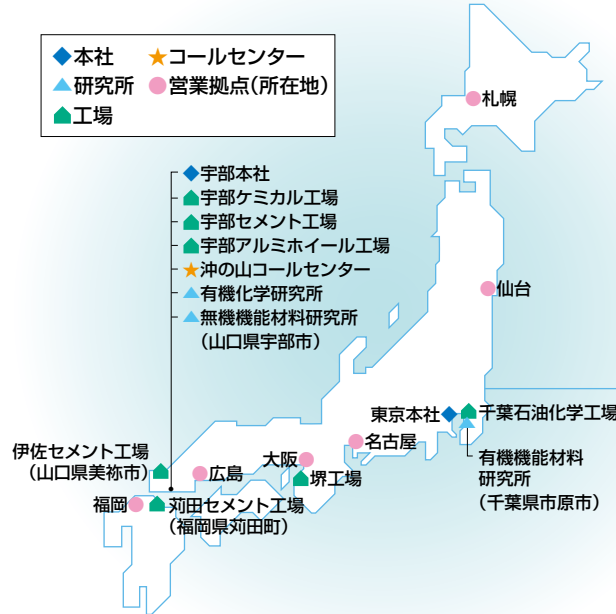
役員

(注) *は取締役との兼務を示しています。

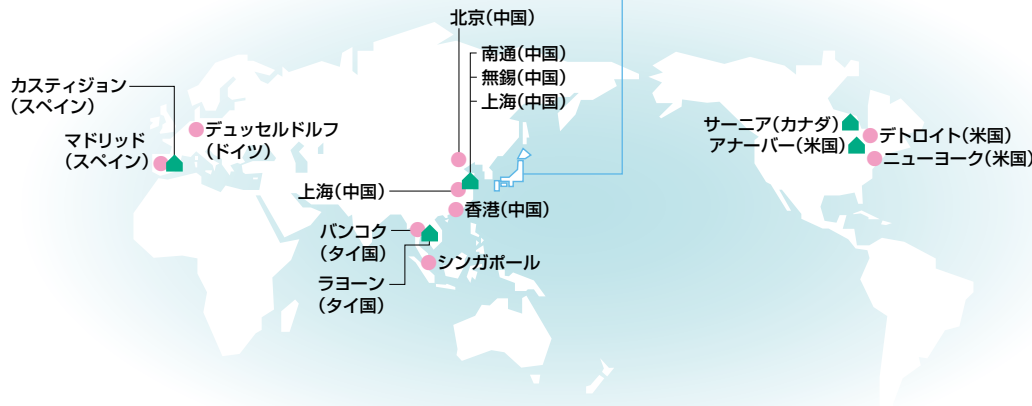
代表取締役社長	田村 浩章	社長執行役員 * 田村 浩章
代表取締役	千葉 泰久	副社長執行役員 * 千葉 泰久
代表取締役	岡田 和彦	副社長執行役員 * 岡田 和彦
取締役	松本 卓	専務執行役員 紀平 浩二
取締役	古川 陽道	専務執行役員 高橋 信行
取締役	宇野 雅夫	専務執行役員 * 古川 陽道
社外取締役	松本 善臣	専務執行役員 関谷 一真
社外取締役	元田 充隆	常務執行役員 竹下 道夫
		常務執行役員 * 宇野 雅夫
常任監査役(常勤)	池田 浩	常務執行役員 鈴木 勝典
常任監査役(常勤)	樫部 正樹	常務執行役員 チャルニアピットク
常任監査役(常勤)	山中 和郎	常務執行役員 山本 謙
監査役	瀧本 博志	常務執行役員 末繁 哲雄
		常務執行役員 梅津 誠
		執行役員 出口 隆一
		執行役員 妙中 信之
		執行役員 久保田 隆昌
		執行役員 筆内 行夫
		執行役員 杉瀬 良二
		執行役員 六角 朋生
		執行役員 杉下 秀幸
		執行役員 松波 正
		執行役員 大原 真二

主な事業所

国内拠点



海外拠点 (主要な海外子会社の所在地)



部門別主要連結対象会社

化成系・樹脂部門

宇部フィルム(株)
 タイ・シンセティック・
 ラバース社(タイ国)
 宇部アンモニア工業(有)
 ウベ・ケミカル・ヨーロッパ社
 (スペイン)
 タイ・カプロラクタム社(タイ国)
 ウベ・ナイロン・タイランド社(タイ国)
 ウベ・エンジニアリング・
 プラスチックス社(スペイン)
 ウベ・ホンコン社(中国)

機能系・ファイン部門

宇部日東化成(株)
 明和化成(株)
 ユー・イー・エル(株)
 ウベ・アメリカ社(米国)

エネルギー・環境部門

宇部シーアンドエー(株)

その他の部門

ウベ・コーポレーション・
 ヨーロッパ社(スペイン)

建設資材部門

宇部興産海運(株)
 大協企業(株)
 萩森興産(株)
 ウベボード(株)
 宇部建設資材販売(株)
 (株)関東宇部ホールディングス
 宇部マテリアルズ(株)
 山石金属(株)
 宇部三菱セメント(株)*

機械・金属成形部門

宇部興産機械(株)
 ウベ・マシナリー社(米国)
 宇部テクノエンジニア(株)
 (株)宇部スチール
 (株)福島製作所
 ウベ・オートモーティブ・ノース・アメリカ・
 サークニア・プラント社(カナダ)
 ウベ・オートモーティブ・
 ノース・アメリカ社(米国)

*持分法適用会社

株式の状況

発行可能株式総数 3,300,000,000株
 発行済株式の総数 1,008,993,923株
 株主数 88,879名

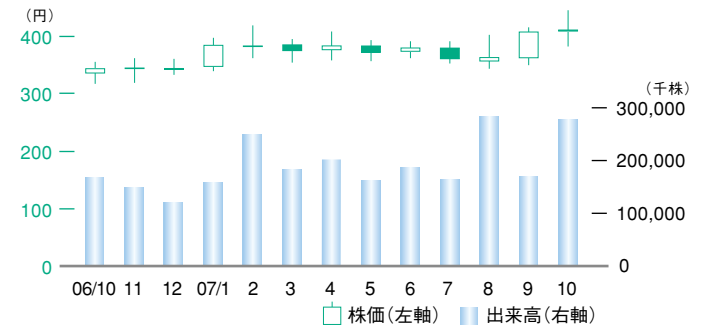
大株主

株主名	株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	116,906	11.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	86,647	8.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	27,610	2.73
住友生命保険相互会社	17,810	1.76
日本興亜損害保険株式会社	16,373	1.62
日本生命保険相互会社	16,356	1.62
株式会社三菱東京UFJ銀行	15,000	1.48
野村信託銀行株式会社(投信口)	14,836	1.47
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	13,493	1.33
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505103	12,926	1.28

配当金推移

1株当たり 配当金	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
	3.0円	-	2.0円	3.0円	4.0円	5.0円 (期末配当予定)

株価及び出来高 (東京証券取引所)



Information

単元未満株式(当社では1,000株未満の株式)の買取及び買増制度について

当社では単元未満株式の買取及び買増を請求できる制度を導入しており、1,000株未満の株券をお持ちの場合や株券の発行されていない登録株式を株主名簿上に所有されている場合には、買取及び買増の手続きができますので、ご希望の方は、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部までご連絡ください。

買取請求とは 株主様がご所有の単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができる手続きです。

買増請求とは 株主様がご所有の単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しを請求することができる手続きです。

株式に関するお手続き・お問合せ先

お問合せ・ご連絡先

株式に関するお手続きについて、ご不明な点、確認したい点などがある場合は、下記連絡先にお問合せください。

〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
テレホンセンター(通話料無料)

0120-232-711(東京)

0120-094-777(大阪)

お手続き用紙のご請求

株式に関するお手続き用紙のご請求につきましては、下記のお電話並びにインターネットにより24時間受け付けておりますのでご利用ください。

24時間自動音声応答電話

0120-244-479(東京)

0120-684-479(大阪)

ホームページアドレス

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社へお問合せください。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日より翌年3月31日まで
- 定時株主総会開催時期 6月下旬
- 基準日
定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
- 公告の方法 電子公告
<http://www.ube.co.jp>
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同連絡先) 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(通話料無料)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店

宇部興産株式会社

■ 東京本社
〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館

■ 宇部本社
〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96

※本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おください。



本書は、環境に配慮し適切に(持続可能に)管理された森林からの木材を使用し、塩素化合物の排出を最小限に抑えたECF(無塩素漂白)パルプから製造された用紙と、植物性大豆インクを使用しています。